スマートフォンアプリ「XEAL30D/40D」取扱説明書

戸別受信機 XEAL30D と XEAL40D はスマートフォンアプリを使い、音でデータを転送してチャンネルや各機能の設定ができます。アプリは弊社が作成したもので、無償でお使いいただけます。

チャンネル、ユーザーコードや秘話、個別通信などの設定項目は各無線機の取り扱い説明書を事前に参照して、無線機（送信機）側の設定を済ませておきます。

【ダウンロード】
ANDROID 端末は PLAY ストア、IPHONE 端末は APP STORE で、お使いの機種に合わせて無償アプリの「XEAL30D」または「XEAL40D」を検索してインストールします。（共に約 1.8MB）

【アプリの設定】
アイコンをタップすると「XEAL＊＊D 設定」画面が開きます。

・デジタル簡易無線１からラジオ設定までは、登録するチャンネルごとの設定です。それぞれバンドで登録局（３５１M～）、免許局（４６７M～）を選び、無線機に行った設定と同じになるよう、アプリの各項目を設定します。

・コンパンダ、VOX、ガイダンス最小音量など、無線機や戸別受信機の取扱説明書で説明した項目はここでは省略します。

<u>＊ BS</u>： 乾電池で使うとき、電池の持ちが良くなるバッテリーセーブモードです。 ON にすると持ちが良くなりますが、通話の頭が途切れることがあります。AC アダプターを使っているときは常に無効になります。

<u>＊ 減電池しきい値</u>： 電池が減ったことを知らせるレベルの設定です。数字が大きいほど、電池残量に余裕があるうちから警告します。

<u>＊ 設定ロック</u>： デジタル簡易無線、特定小電力、アマチュア無線の ACSH ができなくなります(周波数書き込み・消去ができない)。ラジオはシークと書き込み、消去ができなくなります。各種設定、拡張各種設定の項目も全て変更できなくなります。

【設定データの書き込み】
アプリの設定が終わったら、そのデータを戸別受信機（以下、本機）に転送します。スマートフォンがマナーモードになっていないことを確認して、音量を高めにします。

－ **ご注意** －

- 静かな場所で行ってください。話し声や環境音があると書き込みができません。
- データ転送中は本機とスマートフォンを極力動かさないでください。
- うまく書き込めないときはスマートフォンの音量を小さい場合は大きく、大きすぎる場合は少し下げて試してください。
- スマートフォンのスピーカーの周波数特性によってはうまくデータ転送ができない場合があります。別のスマートフォンでお試しください。iPhone 11,12のユーザー様は次ページをご覧ください。

1. 本機の「△」、「▽」、「選局」ボタンを押しながら電源を入れるとスマートフォンアプリモードになり、音声ガイドが流れます。 ガイドの音声が流れ終わったら、スマートフォンのスピーカー部（音が大きく出る方向）を本機のマイク部（パネル面中央上部の細長い穴）の正面に近づけます。マイクとスマートフォンの間隔は１～３cmが目安です。

－ 書き込みに掛かる時間 －

アプリのメニュー画面右上にある「データ送信」ボタンを押すとまとめてデータを書き込めますが、設定内容によっては最長 2 分程度の時間がかかります。編集項目メニューの右上にある「データ送信」ボタン」を押してその項目のデータだけを転送すれば、時間は短くなります。

2. いずれかのデータ送信ボタンを押すと、ピロピロ…と音が鳴り、データを転送します。データ転送中は①～⑤のランプが全てオレンジ点滅になります。終わるまでスマホをマイク穴の前から離さないでください。終了すると「スマートフォンからの設定が完了しました。」とガイダンスでお知らせします。
3. 電源を入れ直すと通常モードに戻ります。
4. エラー時は「データ転送に失敗しました。」とお知らせして本機の①～⑤のランプが赤点滅します。エラーになった時は、再度スマートフォンアプリの送信ボタンを押してリトライしてください。

データ初期化、をタップすると設定内容を全てリセットできます。

以上

アルインコ(株)電子事業部

アップデートについて：

2021年4月にVer.1.4をリリースしました。

iPhone11,12で採用されたスピーカーで、プログラムデータの伝送にエラーが多発することへの対応とマイナーバグのフィックスです。

・Ver 1.4ではメイン画面に設定ボタン（右上の歯車のボタン）を追加しました。
iPhone11とiPhone12を使用する時はここで「音声出力チャンネル2」を選択して、
イヤースピーカー（電話する時の、耳に近いスピーカー）で書き込みするほうが
成功率が高くなります。

プライベートポリシー

このソフトはスマホ内の個人情報、位置情報その他個人を特定する機能に一切アクセスしません。
弊社電子事業部のPPはこちらで公開しております。
https://www.alinco.co.jp/files/user/electron/dl/privacypolicyAlinco.pdf

緊急警報放送設定説明

周波数：お住まいの地域の NHK-FM 放送の周波数を選び ON に✓を入れます。

音量：緊急警報放送を受信した時の音量です。出来るだけ大きくする方が良いでしょう。DIAL は音量ボリュームに連動します。

種別：緊急警報放送は，第 1 種と第 2 種とに区別して行われ，東海大地震の警戒宣言などの大規模地震の警戒警報及び災害対策基本法に基付き，地方公共団体の長(都道府県知事並びに市区町村長)が発する災害に関する警報(避難命令など)の場合には第 1 種開始信号，津波警報は第 2 種開始信号を使用して行われます。第 1 種信号，第 2 種信号ともに約 10 秒間送出されます。第 1 種信号は強制的に動作しますが，第 2 種信号は津波警報にだけ使用され，受信側で動作させない設定が可能です(海岸又は河口からはるかに離れている地域，内陸の地域の便宜のため)。

試験放送：緊急警報放送の受信機の動作などを確認するため、試験放送を月 1 回程度放送しています。
NHK は、毎月 1 日（1 月のみ 4 日）正午前の 11:59－12:00 に、総合テレビ、ラジオ第 1、FM 放送でいずれも総合テレビのワンセグも含めて試験信号放送を送出しています。

警報 OFF 時間：緊急警報放送が終了する前に終了コマンドが送られてきます。この終了コマンドを受信できれば警報の受信を終了しますが、受信できなければ設定した時間（1 分～5 分）で警報の受信を終了させることができます。

注意：緊急警報放送は AC アダプターで動作時、本機の電源を切っていても常に待ち受け受信しています。しかしながら、FM、AM ラジオ受信時は待ち受け受信できません。